

令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 修学院地域包括支援センター

1 施設の管理運営

| |
|--|
| 【開所日及び開所時間】 開所日 月曜日から金曜日（12月29日～1月3日休業） 開所時間 午前9時～午後5時 休日等営業時間外は窓口への連絡で携帯電話に自動転送され、携帯電話は職員が週ごとで持ち回り対応している。営業時間帯は日ごとに当番職員を配置しており、急な来所や電話相談にも対応。 【事業実施地域】 修学院第一学区、修学院第二学区 |
| （参考）今後実施予定の指定管理者提案内容 |

2 事業実施内容

| |
|---|
| ・広報誌を年2回発行し、単身高齢者訪問事業や各種地域団体、地域住民などに配布し年間通して広報活動を行う。 ・認知症サポーター養成講座や地域の行事にて、認知症や権利擁護関係の啓発活動を地域住民や関係者に対して行う。 ・Ⅰ～Ⅲの地域ケア会議を開催し、地域課題の抽出や検討、関係者の資質向上支援を行う。 ・健康すこやか学級や公園体操等で介護予防の必要性や個別の相談対応を行う。 ・研修会を企画し、圏域のケアマネジャーや介護サービス事業所に参加を促し、ネットワークの構築支援を行う。 |
| （参考）今後実施予定の指定管理者提案内容 |
| （参考）自主事業内容 |

3 サービス提供状況

| |
|--|
| センター長/主任介護支援専門員1名、社会福祉士2名、看護師1名、主任介護支援専門員1名、介護支援専門員1名、事務職員1名を配置。 |
| （参考）今後実施予定の指定管理者提案内容 |

4 市内中小企業への発注に対する考え方

| |
|-------------------------|
| 市内中小企業へ優先して発注するよう努めている。 |
|-------------------------|

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 介護予防支援給付対象者数（実績値）

2961 人

(2) 相談延べ件数（実績値）

770 件

(3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況（単位：円）

| | |
|--------|------------|
| 委託料 | 26,872,600 |
| 介護保険収入 | 13,797,152 |
| その他 | 3,684 |
| 収入計 | 40,673,436 |

イ 令和4年度支出状況（単位：円）

| | |
|-------|------------|
| 人件費 | 34,549,882 |
| 事業費 | 2,308,725 |
| 委託費 | 2,244,978 |
| 小額修繕費 | 63,352 |
| その他 | 5,000 |
| 支出計 | 39,171,937 |

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

定期的なモニタリングでサービスにおける効果や満足度等を把握している。苦情を受け付けた場合はマニュアルに則り、所内で検討し改善に努めるとともに必要に応じて第三者委員への報告とアドバイスを求めている。その他、定期的な地域ケア会議や運営協議会、各種団体の定例会等において地域包括支援センターの活動に対しての意見を聴取している。

(2) 利用者満足度把握の結果

今後も様々なご意見に迅速に対応し、安心安全な地域づくりに努めている。

(3) 意見等への主な対応状況

利用者より相談を受けた場合は、各職員が専門性を生かして対応し、判断に迷うケースは所内全体で共有し対応している。

7 その他特記事項

(1)

介護予防に関して意識の高い地域であり、自主体操グループと公園体操を実施している。地域介護予防推進センターと協力し、グループ運営が継続できるように支援している。

(2)

コロナ禍で感染状況を見ながら、臨時開催している認知症カフェを、ボランティアサークルが主体となって運営できるように支援している。

8 評価（指定管理者自己評価）

所内ミーティングを充実させ、意見交換を活発に行える環境を整える事で、職員個々がケースを抱え込まないよう配慮している。意見交換を重ねることで職員の資質向上にもつなげたい。圏域内で行方不明者が発生したことをうけ、SOSネットワークの強化を目的に地域ケア会議等で検討を重ねている。今後も、多職種連携や支援ネットワークの構築、強化のため、包括でできることを考え、信頼される福祉の拠点として、高齢者及びそのご家族が地域で安心して生活できるための身近な相談窓口としてより一層進展することができるように努めたい。障害を理由にした差別の解消について研修などを通じ理解を深めている。